

# 消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.119

発行所：日本消化器がん検診学会  
 関東甲信越支部  
 〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-9-2  
 東京都立がん検診センター  
 消化器内科  
 TEL / 042-321-0711  
 E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp



第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会 .....	2
会長挨拶 .....	2
ご案内 .....	3
開催予定プログラム .....	3
上部消化管シンポジウムプログラム案 .....	7
ザ・ベスト・イメージング・コンテスト症例募集 .....	8
教育講演 司会の言葉 .....	10
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 .....	12
超音波研修委員会 .....	12
第26回初心者のための腹部超音波実技講習会 .....	12
超音波セミナーin新潟 .....	12
超音波スクリーニング研修講演会2023東京 .....	13
施設紹介 飯田市立病院 .....	14
編集後記 .....	16

# 第82回日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会

## 会長挨拶



飯田市立病院診療技幹・内視鏡センター長

岡庭 信司

この度、第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会会長を拝命いたしました飯田市立病院の岡庭信司です。長野での本学会地方会の開催は、2011年9月の第71回地方会（会長：赤松泰次先生）以来12年ぶりとなります。また、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、過去2回の地方会（第80回地方会：山口和也会長、第81回地方会：中島寛隆会長）は完全web開催となりましたが、3年ぶりに長野市での現地開催を目指しております。

さて、第82回地方会のテーマは「適切ながん検診を安全に提供する」とさせて頂きました。この度のコロナ・パンデミックでは、人が集まることが感染リスクに繋がるとして行動制限が求められてきました。がん検診についても従来のように単に大勢の人を集めて検診を行うのではなく、科学的根拠に基づいたがんのリスクやがん検診の利益・不利益などについて情報発信を行い、受診者自身が適切ながん検診を選択し安全に受けて頂けるような体制を作っていく必要があります。特に、新たに導入された胃内視鏡検診や今後対策型への導入が検討されている大腸内視鏡検診などは、従来の手法に比べ精度は高いですが、受診者の負担や検査の偶発症の問題に加え検査を行う側の体制にも課題があると考えます。

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部は、1971年に国立がんセンター集検部長であった市川平三郎先生が中心となり設立されました。全国に先駆け、放射線部会、保健衛生部会、超音波部会を設立し、各々がそれぞれの分野における精度管理向上のための研究や検診の普及に力を注いで参りました。今回の地方会が会員の皆様にとって実り多い有意義な会となりますよう努めて参りますので、多くの皆様のご参集をお待ちしております。

## 地方会のご案内

会 長：岡庭 信司（飯田市立病院）  
 会 期：2023年9月23日（土）、24日（日）  
 会 場：JA長野県ビル・アクティールホール  
 〒380-0826  
 長野県長野市大字南長野北石堂町1173番地3  
 TEL 026-236-3600 FAX 026-236-3525

## 開催予定プログラム

### 上部消化管シンポジウム（9月23日 第1会場）

#### 胃がん検診における高齢者への精度と安全性の調和

司会：増田 英夫、見本 真一

演者：小田 丈二、福山 智之、丹羽 咲弓、他2名

コメンテーター：赤松 泰次

#### 趣旨：

胃がん罹患率が高く高度萎縮粘膜が多いといわれる高齢者の受診について、胃がん検診の現場では様々な安全性対策と画像精度への影響が課題となっている。今後の更なる高齢化傾向を考慮し、検診精度と安全性の両立をいかにすべきか、多角的な検討により現場運用の適正化や有効性向上の一助としたい。

### 教育講演①（9月23日 第2会場）

#### 血流診断を有効に活用していますか？－肝臓・血管病変－

司会：鳥海 修

演者：松本 直樹

## 教育講演② (9月23日 第2会場)

## 適切な判定をするための超音波検査－脾臓－

司会：中島美智子

演者：比佐 岳史

## 教育講演③ (9月23日 第2会場)

## 適切な判定をするための超音波検査－胆のう－

司会：関口 隆三

演者：森 秀明

## 一般演題 (9月24日 第1会場)

司会：未定

## 一般演題 (9月24日 第2会場)

司会：中河原浩史

## 大腸がん検診パネルディスカッション (9月24日 第1会場)

## 安全な大腸内視鏡検診の実現に向けて

司会：山口 和也、鈴木 康元

演者：小林 望、千葉 暢子、馬嶋健一郎、渡邊 綾子

## 司会の言葉：

大腸内視鏡検査の実施目的は、大別すると有症状者や有所見者を対象とした一般診療目的と無症状者を対象としたがん検診目的の二つに分けられ、このうちがん検診目的は更に任意型検診におけるスクリーニング目的と対策型検診における精検目的の2つに細分化される。対策型検診は対象集団における死亡率減少効果を上げると同時に不利益を最小化することが求められ、具体的には診療よりもさらに安全な検査が求められる。今はまだ実施されていないが、今後の導入が想定される対策型大腸内視鏡検診を、高い安全性を保ち実現するために、重要と思う項目を5つず

つその理由とともに列記していただきたい。多いものから会場で議論を深めたい。

パネルディスカッション (9月24日 第2会場)

超音波検診判定マニュアル2021 撮像法を極める

司会：松本 直樹、足立 雅樹  
 演者 肝：渡邊 幸信  
 胆道：比佐 岳史  
 膵：小川 眞広  
 腎：関口 隆三

司会の言葉：

2021年に超音波検診判定マニュアルが改訂された。今回、腹部スクリーニングの推奨記録画像25断面と体位変換による画像8枚が掲載され、これらは肝、胆、膵、脾、腎、腹部大動脈を網羅して観察するガイドとなっている。但しそれで全ての症例を充分スキャンできる訳ではなく、被検者の体型、消化管ガスの分布によって更なるテクニックが必要になる。

本セッションでは肝、胆、膵、腎の各臓器のスペシャリストの先生方に、日頃駆使しているノウハウを披露して頂く。参加者の明日からの検査の役に立つと共に、一例でも多くのがんの早期発見に繋がれば幸いである。

会長講演 (9月24日 第1会場)

司会：未定  
 演者：岡庭 信司

X線・内視鏡 合同症例検討会 (9月24日 第1会場)

司会：長浜 隆司、他未定

ベストイメージングコンテスト (9月24日 第2会場)

司会：山本 美穂、中村 稔

## 地域 消化器がん検診従事者意見交換会（9月24日 第3会場）

～長野県下の保健師・看護師・事務職の方を中心にがん検診の現状と課題について～

保健衛生研修委員会

## クイズセッション（9月24日 第2会場）

## チャレンジ・検診判定マニュアル2021

司会：渡邊 幸信、岩田 好隆

## スポンサードセミナー

イブニングセミナー キヤノンメディカルシステムズ株式会社(予定)

ランチョンセミナー① オリンパスマーケティング株式会社(予定)

ランチョンセミナー② GEヘルスケア・ジャパン株式会社



## 上部消化管シンポジウム プログラム案

保健衛生委員会 / 放射線研修委員会

日時：2023年9月23日（土）13：20-15：40（140分）

会場：長野市JAアクティホール 第1会場

主題：「胃がん検診における高齢者への精度と安全性の調和」

趣旨：胃がん罹患率が高く高度萎縮粘膜が多いといわれる高齢者の受診について、胃がん検診の現場では様々な安全性対策と画像精度への影響が課題となっている。今後の更なる高齢化傾向を考慮し、検診精度と安全性の両立をいかにすべきか、多角的な検討により現場運用の適正化や有効性向上の一助としたい。

内容：1) 近年の高齢者胃がんに関する医学的知見

東京都立がん検診センター 小田丈二先生

2) 対策型胃がん検診における高齢者受診状況と課題点について

長野県健康福祉部 保健・疾病対策課 ●●●●

3) 胃X線検診における高齢者対策の取り組みと課題点

長野県健康づくり事業団 ●●●●

4) 高齢者への胃X線検査における撮影手技と発見がんについて

神奈川県予防医学協会 福山智之

5) 胃がん検診における高齢者受診へのリスクマネジメント

東京都立がん検診センター 丹羽咲弓

コメンテーター：長野県立信州医療センター 赤松泰次先生

司会：栃木県保健衛生事業団 増田英夫

神奈川県予防医学協会 見本真一

### － 全体討論 －

- ・ 高齢者定義：65歳以上（前期高齢者）、75歳以上（後期高齢者）
- ・ 総人口に対する高齢者割合29.1%（2021年）世界第1位（医療全体の課題）
- ・ 受診者毎の条件や状態に合わせた安全性に関する個別対応の可能性を検討
- ・ 安全基準冊子改訂版の発刊効果を検証する

## ザ・ベスト・イメージング・コンテスト症例募集 (The Best Imaging Contest)

第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会において「第14回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催いたします。

82回地方会は岡庭信司先生の大会長で2023年9月23・24日の2日間、JAアクティーホール（長野県長野市）にて開催されます。昨年はWeb開催でしたが、今回は現地会場開催となりますので、会場でプレゼンテーションを行ったあと投票でベスト画像を決定し、表彰も行います。

また、昨年行いました事前投票が思いのほか好評でしたので昨年同様、地方会1週間前から応募画像を地方会ホームページ上に公開し、事前投票も併用し、当日投票の結果と合わせてベスト画像を決定したいと思います。

岡庭先生はベストイメージングコンテストの発案者です。先生の一言からこのコンテストが始まり長年続いており、多くの素晴らしい画像を見ることができています。今回も多くの方に応募いただき地方会を盛りあげたいと思います。また、久しぶりの現地開催ですので、会場にもぜひお越しいただき投票にもご参加ください。

記録された超音波写真には病態を正しく的確に伝えたいという検査担当者の思いが込められています。日常業務で撮影された思いのこもった自慢のベストショットを応募してください。応募していただいた超音波画像を、応募者・所属施設を伏せて地方会ホームページ上および地方会当日会場で閲覧し、投票でベストイメージングを選出します。

応募資格は医師・技師を問いません。また応募者のプレゼンテーションはありませんので、地方会に参加できない方でも応募していただいて結構です。

特に、健診施設で発見し撮影された汎用機での症例もお待ちしています。装置の調整が的確で疾患の特徴がうまくとらえられた画像ならば稀症例でなくても構いません。多数のご応募をお待ちしております。

### 【超音波画像】

- ・Bモード画像 1枚（カラー Doppler・パワード Doppler可）、ただし2分割の使用は可能とします。
- ・施設名、患者氏名は削除し、フォーカス、ゲイン、ダイナミックレンジ等の装置条件は削除しないでください。
- ・超音波画像に文字、記号等は書き込まないでください。
- ・画像の加工および合成は行わないでください。

### 【領域】

上腹部（肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓、消化管、腹部大動脈、その他）

**【応募方法】**

E-mailにて件名を『ベストイメージング (応募者名)』とし、本文に氏名・連絡先住所を明記の上、下記要領に従いPowerPointにて作成したスライドファイルを添付して送信してください。

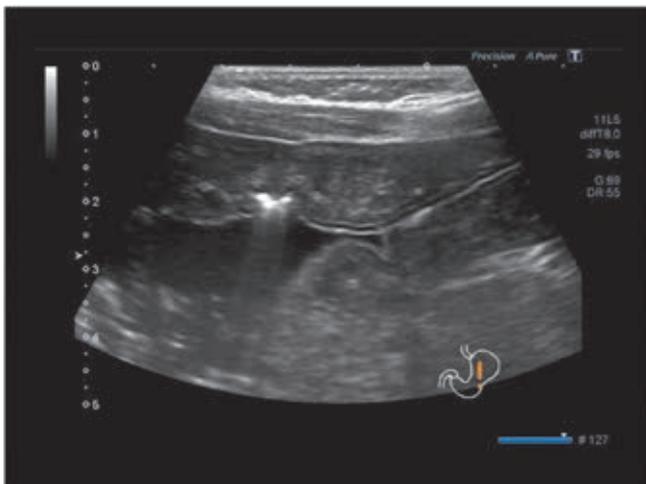
〈スライド1枚目〉 氏名 (術者)、所属施設名、超音波機種名、使用プローブの周波数、患者 (検診者) の年齢・性別、診断名、コメント (術者の一言)：強調したい点、工夫した点など

〈スライド2枚目〉 超音波画像  
作成例) 2022年【最優秀賞】

スライド1

術者：岩田 好隆  
所属：東京女子医科大学付属足立医療センター  
装置：Canon Aplio 400  
周波数：8.0MHz  
患者：10歳代 男性  
診断名：急性胃粘膜性病変および胃潰瘍疑い  
コメント (術者の一言)  
胃体部から幽門部にかけて全周性の著明壁肥厚 (第3層中心) と前壁には高輝度エコーを認め、急性胃粘膜性病変と潰瘍形成を疑いました。  
(エコー後施行の胃内視鏡と病理でも同様の結果で、壁肥厚と潰瘍の存在部位がほぼ正解できたことがうれしかったです。)

スライド2



**【応募先】**

担当：中村 稔 (井上胃腸内科クリニック)

E-mail：us.bestimaging@gmail.com

**【締め切り】**

令和5年8月31日 (必着) \*応募は一人1点のみとさせていただきます。

## 教育講演 適切な判定をするための超音波検査 — 脾臓 —

### 司会の言葉

埼玉医科大学 総合診療内科

中島美智子

腹部超音波検査において脾臓は苦手意識を持ちやすい臓器だと思います。

消化管ガスの影響を受けやすく全体を観察するのが難しい、病変を描出し得たかどうか不安である。

脾実質のエコー像にも個人差があり、病態の把握、理解に影響を及ぼしているなど様々な理由が挙げられます。

しかし超音波検査は臓器の多彩な変化を観察するのに大変適した検査です。

今回は描出の際に気を付ける点、画像の質により所見が変わってしまう点等を含めて広くご講演をいただく予定です。

本講演より今後の検査にお役立ていただければ幸いです。

**KAIGEN**

薬価基準収載

処方箋医薬品 X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

《パウダー製剤》

硫酸バリウム散 99.1%「共成」

バリトップHD

バリトップP

バリブライトLV

バリブライトCL

バリブライトP

バリコンクMX

ネオバルギンEHD

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

※注意 — 医師等の処方箋により使用すること

[資料請求先] **カイゲンファーマ株式会社**

大阪市中央区道修町二丁目5番14号

<https://kaigen-pharma.co.jp>



善光寺本堂

# 第82回 日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部地方会

**会期** 2023年9月23日(土)~24日(日)

**会場** 長野市 JAアクティールホール

**大会長** 岡庭 信司  
飯田市立病院診療技幹・内視鏡センター長

**主催** 日本消化器がん検診学会  
関東甲信越支部



善光寺六地藏

**運営事務局**

〒112-0005 東京都文京区水道 2-1-1 株勁草書房 コミュニケーション事業部 内 Tel:03-3814-7112 Fax:03-3814-6904  
E-mail:jsgcs-kanto82@keiso-comm.com HP://jsgcs-kanto82.keikyukai.jp

写真提供：善光寺

## 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部

### 第26回初心者のための腹部超音波実技講習会のご案内

令和6年2月10日（土）開催予定  
公立学校共済組合 関東中央病院  
東京都世田谷区上用賀6-25-1  
募集人数：20名



### 超音波セミナーin新潟のご案内

会期：令和6年3月16日（土）予定  
会場：新潟県民会館 予定

## 「超音波スクリーニング研修講演会2023東京」のご案内(第一報)

### ■開催形式

- ・会場参加、Web参加（オンデマンド配信のみ）
- ※注意》ライブ配信（当日の同時配信）は行いません。

### ■会場参加（募集人数250名 ※先着順）

- ・日時 令和5年12月16日（土）10時20分～16時10分  
※開場および受付開始は9時50分から
- ・会場 浜離宮朝日ホール（小ホール）  
東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階
- ・アクセス：都営大江戸線「築地市場駅」（A2出口）すぐ  
東京メトロ日比谷線／都営浅草線「東銀座駅」（6番出口）徒歩約8分  
JR（汐留口）／東京メトロ銀座線「新橋駅」（1、2番出口）徒歩約15分
- ・募集人数250名（先着順）
- ・ランチョンセミナー開催予定（昼食弁当を配布します）

### ■Web参加（オンデマンド配信）

- ・配信期間 令和5年12月25日（月）から令和6年2月29日（木）まで
- ・配信動画 研修講演会6演題（12/16撮影動画）＋企業共催ライブデモ動画
- ・募集人数の制限はありません

### ■参加費

- ・会場参加費 4,000円（オンデマンド配信付き）
- ・Web参加費 4,000円

### ■参加申込み期間

- ・会場参加 令和5年10月1日から（但し、定員250名になり次第終了）
- ・Web参加 令和5年10月1日から令和6年1月31日まで

### ■プログラムは調整中

※6演題（講演4演題、ライブセミナー2演題、各45分）

### ■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

共催：一般社団法人 日本消化器がん検診学会  
一般社団法人 日本総合健診医学会

## 施設紹介

### 飯田市立病院紹介

#### 〈理念〉

わたしたちは地域の皆さんの健康を支え信頼される医療の実践します

#### 〈基本方針〉

安全・安心で良質な医療を提供します

患者さん中心の医療を実践します

地域の保険、医療、介護、福祉期間と密接に連携します

教育・研修機能を高め、医療水準の向上とともに、職員が誇りややりがいの持てる職場をつくり  
ます

公立病院として、よりよい医療を提供し続けるために、健全な経営に努めます

#### 〈理念行動指針〉

誠意、熱意、創意をもって医療を実践します

#### 〈施設紹介〉

当院が位置する飯田市は、長野県の最南端、伊那谷の中央に位置し、中央アルプスと南アルプスに挟まれ中央を天竜川が北から南へと流れています。何段にも形成された段丘や、日本で一番長い断層である中央構造線が刻んだ遠山谷などがあり、我が国でも有数の美しさに変化に富んだ地形をしています。

当院は昭和26年に開設し、平成4年に規模を大きくして現在の位置に移転開設しその後増築、改築を行い現在に至ります。約17万人の二次医療圏となる地域の中核病院として二次医療と第三次医療を提供しております。



病院外観



病院屋上から南アルプスを臨む

〈腹部超音波室の紹介〉

今回、MRI室の移設に伴い腹部超音波室をリニューアルしました。床紙には木目調のものを用い、さらに木のテーブルを採用することで、暖かさを感じる仕様となっています。検査室は個室（入り口はカーテン）を採用しており、プライバシーにも配慮しています。またこれまで4部屋で検査を行っていましたが、5部屋に増室したことで、検査の待ち時間と検査予約期間が短縮しました。

腹部超音波室では主に腹部（ドックを含む）、体表臓器、血管領域を超音波検査士が中心に検査を行っています。ドックのみの年間件数は1700件程度ですが、全国労働衛生団体連合会の腹部超音波精度管理調査でA評価、超音波検査学会のコントロールサーベイA評価は最低限の水準として維持することに努めており、勉強会や学会へ積極的に参加しスキルアップを図っています。



腹部超音波検査室全体像



腹部超音波検査室

## 前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

### 薬価基準収載

処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤  
**コロンフォート®** 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤  
**バリテスター® A240散**  
**硫酸バリウム散99.5%「FSK」**

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤  
**バリエース®** 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

**ジメチコン内用液2%「FSK」**  
(ジメチコン内用液)

■ 消化管X線造影剤  
**バリオゲン® HD**  
**バリオゲン® デラックス**  
■ 注腸用X線造影剤  
**エネマスター®** 注腸散

■ 緩下剤

**ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「FSK」**  
(ピコスルファートナトリウム錠)

### 取扱商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two☆**  
味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F.**  
難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**  
消臭成分と抗菌成分をダブル配合。  
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**  
マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。  
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

### 遠隔画像診断支援サービス

**G.I.Lab株式会社**

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1  
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。  
胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィ、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

**FSK 伏見製薬株式会社**  
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801  
名古屋営業所 / TEL 052-732-8555 大阪営業所 / TEL 06-6160-2431  
中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

## 編集後記

今号は第82回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会について、会長の飯田市立病院 岡庭信司先生にご挨拶いただきました。第80回地方会(山口和也会長)、第81回地方会(中島寛隆会長)では新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、完全WEB開催となりましたが、第82回は長野市での現地開催を予定されています。会期は2023年9月23日、24日で、会場はJA長野県ビル・アクティールホールです。テーマは「適切ながん検診を安全に提供する」であり、久しぶりの対面の地方会で、様々な分野において活発で有意義な議論が期待されます。

また第82回地方会で開催される『第14回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト』について症例募集の案内がありました。超音波検査をされない方にとっても、勉強になる楽しい企画であり、発案者である岡庭信司先生が会長でもありますので、思いが込められた超音波画像が多数応募されることが期待されます。

病院紹介では会長の岡庭信司先生がおられる、飯田市立病院をご紹介頂いております。長野県らしい広々とした環境の中のきれいな施設で羨ましく思われる方も多いのではないのでしょうか。コロナ感染が落ち着きある中、第82回地方会が開催される長野市にも多くの会員のご参加をお願いできればと存じます。

超音波研修委員会から、『第26回初心者のための腹部超音波実技講習会』、『超音波セミナー in 新潟』、『超音波スクリーニング研修講演会2023東京』の案内を頂いておりますが、いずれも現地での開催を検討されているようです。開催時のコロナ感染状況などにもよりますが、体調に留意しつつ積極的にご参加頂き、超音波検査の技術向上に役立てて頂ければと存じます。

新型コロナウイルスが感染症法の3類から5類に移行される見通しとなり、行動制限も緩和される中、控えられてきた検診受診が増えてくることと思います。消化器がん検診に関わる皆様の医療機関も忙しくなることと存じますが、引き続き安心安全な検診を心掛け、第82回地方会で元気にお会いできることを願っております。

東京都立がん検診センター  
消化器内科 依光展和

### ■編集委員会■

編集委員長 山口 和也  
編集委員 依光 展和 岡田 義和  
神宮司広明 山本 美穂  
石井 崇雄 渡邊 綾子



(非売品)